

城西国際大学水田美術館年報

第22号
2025(令和7)年度

22

目次

I 沿革	2
II 展覧会	
II-1 開館日数・入館者数	3
II-2 展覧会記録	4
II-3 これまでの展覧会一覧	18
III 教育普及	
III-1 講演会・スライドトーク等	24
III-2 団体来館者への協力	24
III-3 その他	24
IV 収集	25
V 調査研究	26
VI 城西国際大学水田美術館概要	
VI-1 組織図	27
VI-2 施設	27
VI-3 利用案内	27

I 沿革

- 1905年（明治38） 4月13日、水田三喜男、千葉県安房郡曾呂村に生れる。
- 1928年（昭和3）頃 京都帝国大学在学中、浮世絵に関心を持つ。
戦前、浮世絵を数点購入するが、戦災で失う。
- 1946年（昭和21） 第22回衆議院選挙で自由党から出馬、初当選。
戦後、ふたたび浮世絵収集を始める。
- 1960年（昭和35） 第1次池田内閣、大蔵大臣。以後7回、12年にわたり大蔵大臣を務める。
- 1963年（昭和38） 「水田コレクション特集」（『季刊浮世絵』第6冊特別増刊号、緑園書房）。
- 1965年（昭和40） 学校法人城西大学を設立、城西大学（埼玉県坂戸市）開学、初代理事長兼学長となる。
- 1973年（昭和48） 中国葛飾北斎展開催、日中文化交流使節団長として訪中。
- 1976年（昭和51） 12月22日、病気にて急逝、享年71。
学校法人城西大学に「水田コレクション」が寄贈される。
- 1979年（昭和54） 城西大学に水田美術館開館。
- 1992年（平成4） 城西国際大学（千葉県東金市）開学。
- 1998年（平成10） 城西国際大学本部棟3階にギャラリー開設、春秋の「水田コレクション」特別公開始まる。
- 2001年（平成13） 城西国際大学開学10周年。
図書館棟1階に城西国際大学水田美術館開館。
- 2009年（平成21） 水田家より鈴木春信《六玉川》が寄贈される。
- 2011年（平成23） 城西大学水田美術館が新装開館。
- 2013年（平成25） 水田家より宮川長春《江戸風俗図巻》など肉筆浮世絵5点、上村松園《美人納涼図》など近代日本画7点が寄贈される。

II 展覧会

II-1 開館日数・入館者数

総計	*2025年3月～2026年2月		
	展覧会	臨時開館	合計
日数	89日	7日	96日
人数	3724	253	3977

内訳

*入館者数の「学生」「教職員」は、本学在学、在職の者を指す。
*臨時開館を含む。

回数 展覧会

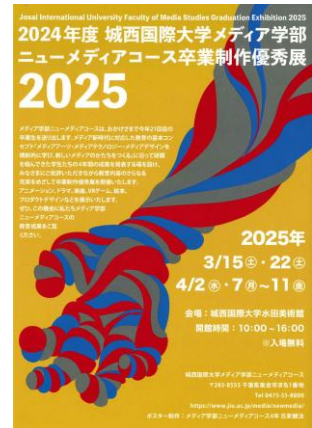
回数	会期	延日数	学生	教職員	一般	合計
114	2024年度 城西国際大学メディア学部ニュー メディアコース卒業制作優秀展 2025					
	2025年3月15、22日、4月2、7～11日	9日	359	60	177	596
115	MADE IN OCCUPIED JAPAN④ レトロな日用雑貨					
	2025年5月17、20日～6月21日	26日	403	62	516	981
116	浮世絵にみるよそおい② 江戸のモード					
	2025年7月8日～7月26日、8月2、23、30、9月13日	19日	181	68	407	656
117	高森碎巖—長南に生まれた最後の南画家—					
	2025年9月30日～10月25日	21日	194	68	261	523
118	第3回 風のアール・ブリュット ココロ・ポリリズムJIU					
	2025年11月8～14日	6日	88	28	433	549
119	浮世絵のヒットメーカー 鳶屋重三郎と版元たち					
	2025年11月25日～12月13日	15日	131	62	479	672

Ⅱ-2 展覧会記録

114 2024 城西国際大学メディア学部ニューメディアコース卒業制作優秀展 2025

2025年3月15日(土)、22日(土)、
4月2日(水)、4月7日(月)～11日(金)

城西国際大学メディア学部ニューメディアコースは、今年3月に21回目の卒業生を送り出した。メディア新時代に対応した学部教育の基本コンセプト「情報・映像・デザイン・サウンドを横断的に学び、新しいメディアのかたちをつくる」に沿って研鑽を積んできた学生諸君の4年間の成果の発表の場として、卒業制作優秀展を開催した。メディア学部の教育成果を提示し、ご批評いただきながら教育内容のさらなる充実をめざしていく機会となった。



出品目録

1. 矢部一真《Escape from Warehouse》VRゲーム／中嶋正夫ゼミ
2. 鈴木結葉《ロコのさつがえり》絵本／斎藤好和ゼミ
3. 鵜澤美波《移住による地方創生》冊子／小波津美香ゼミ
4. 岩井優奈《てあて》プロダクト／戸田傑ゼミ
5. 深川遥《Mouillette & Aroma oil》プロダクト／戸田傑ゼミ
6. 滝口栞菜《木目込み人形ー河童ー》人形／戸田傑ゼミ
7. 國井元稀《誰も死なない物語》本／劉茜懿ゼミ
8. 氏家健汰《ミサイルと犬小屋》アニメーション／劉茜懿ゼミ
9. 佐藤滯《ドヤッサーとゴボウ海賊退治》アニメーション／劉茜懿ゼミ
10. 及川凌明《2DCGと3DCGのアニメーションの比較～バトルシーンの制作～》3Dアニメーション／劉茜懿ゼミ
11. 廣野花奈《日常のオノマトペ》アニメーション／劉茜懿ゼミ
12. 楊霖坤《3DとAI技術を活用したコンセプトデザイン制作ワークフローの構築》3Dアニメーション／劉茜懿ゼミ
13. 脇村和哉《鼓動》アニメーション／劉茜懿ゼミ
14. 韋禱《春夏秋冬》映像／島野義孝ゼミ
15. 孔祥睿《道の果て》映像／島野義孝ゼミ
16. 塚本千尋《Dark Side - for Solo Piano》ピアノ曲／プルチョウ次郎ゼミ
17. 長沼貴子《ファンタジーゲーム BGM》楽曲／プルチョウ次郎ゼミ
18. サウンドゼミ卒制/UVI効果音・作曲 EDM・アレンジ・オーディオブック／プルチョウ次郎ゼミ

ポスター・チラシ制作：メディア学部ニューメディアコース4年 氏家健汰



115 MADE IN OCCUPIED JAPAN④

レトロな日用雑貨

2025年5月20日(火)～6月21日(土)

臨時開館：5月17日(土)

戦後のGHQ占領下、民間貿易が再開された1947年(昭和22)から1952年まで、日本の輸出品には「Made in Occupied Japan (占領下の日本製)」と刻印することが義務付けられた。おもにアメリカに向けて陶磁器や漆芸品、金工品、おもちゃ、カメラなど、様々な製品が輸出され、近年では、刻印のある製品はコレクターズアイテムとなって親しまれている。

このたびの展覧会では、コレクターより寄贈されたオキュバイドジャパンコレクションお披露目の第四弾として、いろいろな日用雑貨を展示した。カップ&ソーサーや皿などの食器類、和風な柄の漆製品、金属製の灰皿やセルロイド製のおもちゃなど、およそ75年前のレトロで、ときにキッチュな魅力あふれる雑貨をお楽しみいただいた。



出品目録

*すべて当館蔵

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 緑文デミタスカップ&ソーサー 2. 花文デミタスカップ&ソーサー 3. 花文デミタスカップ&ソーサー 4. 緑地花文デミタスカップ&ソーサー／大橋陶器 5. 花文デミタスカップ&ソーサー 6. 花文デミタスカップ&ソーサー 7. ラスター彩花鳥文デミタスカップ&ソーサー 8. ラスター彩花文デミタスカップ&ソーサー／田代商会(貿易商社) 9. コスモス文デミタスカップ&ソーサー 10. ラスター彩花文デミタスセット 11. 金彩花文カップ&ソーサー／名古屋商会(貿易商社) 12. 緑地花文カップ&ソーサー／日本物産(貿易商社) 13. 青地薔薇文カップ&ソーサー 14. 花文カップ&ソーサー | <ol style="list-style-type: none"> 15. 黄地薔薇文カップ&ソーサー 16. ウィローパターンカップ&ソーサー／日本硬質陶器 17. リーフ文スナックセット／田代商会(貿易商社) 18. 花文クリーマー・シュガーポット／中部陶器 19. パンジー文ティーセット／ユナイテッド・チャイナ・アンド・グラスカンパニー(貿易商社) 20. 果実文カップ&ソーサー、クリーマー・シュガーポット／ユナイテッド・チャイナ・アンド・グラスカンパニー(貿易商社) 21. 「FIESTA」ディナーウェアのうちべーカー、 |
|---|---|

- クリーマー・シュガーポット／鳴海製陶所
22. 花文グレービー、ベーカー／山口陶器
 23. 「REGALIA」ディナーウェアのうちグレービー／日本物産（貿易商社）
 24. 「SONATA」ディナーウェアのうちキャセロール、プラター／鳴海製陶所
 25. クリームボーダー三段貼スープ皿／和光陶器、佐地貿易（貿易商社）
 26. クリームボーダー三段貼シュガーポット／日本陶器（ノリタケ）
 27. 「ROCHELLE」シュガーポット／名古屋製陶所またはヤマカ製陶所
 28. 葡萄文シュガーポット／七本松陶園
 29. 家形シュガーポット／七本松陶園
 30. 花文オイル・ビネガーポット
 31. 鶏文エッグスタンド
 32. 兎文エッグスタンド
 33. 葡萄文ピアマグ／石原陶器貿易（貿易商社）
 34. 花文カップ&ソーサー
 35. 花文透彫皿
 36. すみれ文リーフ皿／和光陶器
 37. リーフ皿／松風陶器
 38. 竜花文皿／北陶社
 39. 蓮文鉢
 40. 菊牡丹文茶碗
 41. 花文茶碗／中部陶器
 42. 梅花文茶碗
 43. 風景文茶碗
 44. 草花文漆コースターセット
 45. 桜文漆杯・藤文漆杯
 46. 竹文漆皿
 47. 竹文漆トレー
 48. 紅葉文漆ふた物
 49. 朝顔文取手付き漆器
 50. 楼閣文漆サイレントバトラー
 51. 山水文漆サイレントバトラー
 52. 花文ソルト&ペッパー、マスタード入れ／田代商会（貿易商社）
 53. 花文ソルト&ペッパー
 54. ガラス製ソルト&ペッパー
 55. フロリダ土産ソルト&ペッパー
 56. 花文の犬ソルト&ペッパー
 57. ベレー帽の犬ソルト&ペッパー
 58. オランダの少年少女ソルト&ペッパー
 59. 犬と小屋ソルト&ペッパー／石原陶器貿易（貿易商社）
 60. ドアボーイソルト&ペッパー
 61. ティーポットソルト&ペッパー／中部陶器
 62. ティーポットソルト&ペッパー
 63. 犬ソルト&ペッパーのうち
 64. リスソルト&ペッパーのうち
 65. アヒルソルト&ペッパーのうち
 66. バグパイプを吹く少年ソルト&ペッパーのうち
 67. 風景文額皿
 68. ダリア文額皿
 69. ダリア文額皿
 70. さくらんぼ文額皿器
 71. 花文透彫ベース／田代商会（貿易会社）
 72. 花文ベース／中外陶業
 73. ミニチュア花文ベース
 74. 楼閣ベース
 75. ダンサーベース
 76. 腰かける少年の器
 77. マッチ入れ
 78. チューリップ文灰皿
 79. 花文灰皿
 80. 木製パズル
 81. 寄木細工鏡台
 82. トランプ形ペーパートレイ
 83. 楽譜文ペーパーナックトレイ
 84. 花文ペーパーコースターセット
 85. ベティセルロイド人形
 86. キュービーセルロイド人形
 87. 小鹿セルロイドおもちゃ
 88. トナカイセルロイドおもちゃ
 89. 赤ちゃんセルロイド人形
 90. ネコセルロイドおもちゃ
 91. クマセルロイドおもちゃ
 92. 赤ちゃんビスク人形
 93. 少女ビスク人形
 94. キュービーセルロイド人形
 95. 赤ちゃんセルロイド人形
 96. 赤ちゃんセルロイド人形
 97. ギターを持つ犬
 98. ダンシングカップル
 99. ラグタイムバンド
 100. Pee Wee ミニハーモニカ

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 101. 花文トイティーカップ&ソーサー | 114. カーネーション造花 |
| 102. パンジー文トイティーカップ&ソーサー | 115. バラ造花 |
| 103. 花文トイティーカップ&ソーサー | 116. 造花 |
| 104. 花文トイティーカップ&ソーサー／中部陶器 | 117. 西洋ひいらぎクリスマス飾り |
| 105. バラ文トイティーカップ&ソーサー | 118. 宝船文鎮 |
| 106. 花文トイティーカップ&ソーサー | 119. パター皿 |
| 107. 金彩トイティーカップ&ソーサー | 120. カウボーイ文煙草入れ |
| 108. シルクスカーフ | 121. 馬と馬蹄文小物入れ |
| 109. 水仙文扇子 | 122. アラバマ土産灰皿 |
| 110. 牡丹文扇子 | 123. ニューヨーク州ジョージ湖土産灰皿 |
| 111. 蝶文扇子 | 124. 鎌倉土産灰皿 |
| 112. カワセミブローチ | 125. 日光土産灰皿 |
| 113. クリスマス飾り | |

館内放映：スライドショー「Made in Occupied Japan」4分

広報記録：news チバ「戦後 80 年『占領下の日本製』のレトロ雑貨を集めた企画展開催 千葉県東金市」（千葉テレビ、2025 年 5 月 27 日）、「レトロな日用品ざらり 戦後占領下 輸出 125 点を紹介」（『千葉日報』2025 年 5 月 28 日）、「占領下のメイド・イン・ジャパン 刻印された輸出品 125 点展示」（『東京新聞』2025 年 6 月 3 日）、「見る聞く話す参加する欄」（『東京新聞』2025 年 6 月 1 日）、「ちばマリオンミュージアム欄」（『朝日新聞』2025 年 6 月 10 日）、「展覧会欄」（『北総よみうり統合版』2025 年 4 月 25 日）、「Art 欄」（『月刊ぐるっと千葉』2025 年 6 月号）



116 浮世絵にみるよそおい② 江戸のモード

2025年7月8日(火)～7月26日(土)

臨時開館：8月2日(土)、23日(土)、30日(土)、9月13日(土)

ファッションリーダーであった役者と遊女や、庶民の暮らしが描かれた浮世絵は、江戸時代の服飾文化を今に伝える格好の絵画資料である。このたびの展覧会は「浮世絵にみるよそおい」シリーズの第二弾として、着物と装身具に注目した。町人が経済力をもったこの時代、武家階級だけでなく、広く人々が季節や行事に合わせ、着物の素材や模様、着こなしに変化をつけ、華やかに、または粋によそおうことを楽しんでた。さらに、腰にさげる印籠やたばこ入れ、ふところからのぞく紙入れなどの小物も大切なおしゃれアイテムだった。

本展では、肉筆浮世絵と錦絵から、着物の多彩なデザインや着こなし、小物使いを紹介した。あわせて国立歴史民俗博物館のご協力により、17～19世紀の着物と装身具を展示した。現在も色あせない江戸のモードをお楽しみいただいた。



出品目録

*12～22は臨時開館時の出品なし。41～43は臨時開館時のみ出品。

1. 勝川春好《三代目瀬川菊之丞の白酒売》天明5年(1785)／細判錦絵／版元未詳／当館蔵
2. 鈴木春信《六玉川 擣衣の玉川》明和4年(1767)頃／中判錦絵／版元未詳／当館蔵
3. 歌川国貞《吉原時計 申ノ刻 タセツ》文政(1818～30)中期／大判錦絵／版元＝榎本屋吉兵衛／当館蔵
4. 鳥文斎栄之《難波屋店先》寛政(1789～1801)頃／柱絵判錦絵／版元＝西村屋与八／当館蔵
5. 喜多川歌麿《針仕事》寛政6、7年(1794、95)／大判錦絵3枚続のうち左／版元＝上村与兵衛／当館蔵
6. 上村松園《美人納涼図》昭和初(1925～34)頃／絹本着色 1面／当館蔵
7. 菱川師宣《髮梳図》江戸時代(17世紀末)／絹本着色 1幅／当館蔵
8. 無款(菱川派)《美人図》元禄～正徳(1688～1715)／紙本着色 1幅／当館蔵
9. 小川詮茂《髮直し美人図》正徳(1711～16)頃／紙本着色 1幅／当館蔵
10. 吉原真龍《夏姿美人図》天保～弘化(1830～48)頃／絹本着色 1幅／当館蔵
11. 葛飾北斎《化粧美人図》文化(1804～18)中期／絹本着色 1幅／当館蔵
12. 《梅樹模様小袖》江戸時代(17～18世紀)／紫綸子地 絞・縫／国立歴史民俗博物館蔵
13. 《貝海松模様振袖染分(浅葱白)》江戸時代(19世紀)／平絹地 友禅染／国立歴史民俗博物館蔵
14. 《菊花蒔絵印籠》銘「古満休伯」／江戸時代(19世紀)／国立歴史民俗博物館蔵
15. 《黒棧留革提げたばこ入れ》江戸時代(18世紀)／国立歴史民俗博物館蔵
16. 《唐花文金更紗懐中たばこ入れ》明治時代(19世紀)／国立歴史民俗博物館蔵

17. 《霞菖蒲文肉入繡箱迫》江戸時代（18～19世紀）／国立歴史民俗博物館蔵
18. 《縞柄袂落し》江戸時代（18～19世紀）／国立歴史民俗博物館蔵
19. 《石畳に三筋格子文紙入れ》江戸～明治時代（19世紀）／国立歴史民俗博物館蔵
20. 《藤燕文綴錦紙入れ》江戸時代（18～19世紀）／国立歴史民俗博物館蔵
21. 《黒地蔦金唐革紙鏡入れ》江戸～明治時代（19世紀）／国立歴史民俗博物館蔵
22. 《竜文金襴懸守》江戸時代（19世紀）／国立歴史民俗博物館蔵
23. 英一蝶落款《大名火消絵巻》江戸時代／紙本着色 2巻／当館蔵
24. 鳥園斎栄深《鷹匠》寛政（1789～1801）後期／大判錦絵／版元未詳／当館蔵
25. 歌川国芳《東都流行三十六会席 山谷 八百屋半兵衛》嘉永5年（1852）／大判錦絵／版元未詳／当館蔵
26. 三代歌川豊国《今昔兎手柏一 しほ干の与三・かうもり安》安政2年（1855）／大判錦絵／版元＝井筒屋／当館蔵
27. 三代歌川豊国《東海道五十三対 島田之駅 大井川》天保15年～弘化4年（1844～47）／大判錦絵／版元＝遠州屋又兵衛／当館蔵
28. 月岡芳年《近世俠義伝 滑方紋弥》慶応2年（1866）／大判錦絵／版元＝伊勢屋喜三郎／当館蔵
29. 三代歌川豊国《近世水滸伝 岩井桑三郎の夏目小僧新助》文久元年（1861）／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉／当館蔵
30. 豊原国周《河原崎権十郎の小鼠忠次と二代目岩井紫若の千太郎》慶応元年（1865）／大判錦絵2枚続／版元未詳／当館蔵
31. 菊川英山《風流狐けん》文化（1804～18）頃／大判錦絵3枚続／版元＝山田屋庄次郎／当館蔵
32. 歌川国貞《流行美人合 弁財天子供屋》文政10年～天保13年（1827～42）／大判錦絵3枚続／版元＝葛屋吉蔵／当館蔵
33. 歌川国貞《流行美人合 新地八景》文政10年～天保13年（1827～42）／大判錦絵3枚続／版元＝葛屋吉蔵／当館蔵
34. 三代歌川豊国《四季花くらべの内 秋》嘉永6年（1853）／大判錦絵3枚続／版元＝辻屋安兵衛／当館蔵
35. 三代歌川豊国《誂織当世島 船の玩具》弘化（1844～48）頃／大判錦絵／版元＝都沢／当館蔵
36. 三代歌川豊国・二代歌川国久《江戸名所 百人美女 成田山旅宿》安政4年（1857）／大判錦絵／版元＝若狭屋与市／当館蔵
37. 三代歌川豊国《古今名婦伝 栢原の捨女》文久元年（1861）／大判錦絵／版元＝魚屋栄吉／当館蔵
38. 月岡芳年《風俗三十二相 いたさう 寛政年間女郎の風俗》明治21年（1888）／大判錦絵／版元＝綱島亀吉／当館蔵
39. 月岡芳年《風俗三十二相 めがさめさう 弘化年間むすめの風俗》明治21年（1888）／大判錦絵／版元＝綱島亀吉／当館蔵
40. 月岡芳年《風俗三十二相 にあいさう 弘化年間廓の芸者風俗》明治21年（1888）／大判錦絵／版元＝綱島亀吉／当館蔵
41. 三代歌川豊国《和泉屋多右左衛門、きられ与三、手代藤八、横ぐしおとみ》万延元年（1860）／大判錦絵3枚続／版元＝丸屋甚八／当館蔵
42. 楊洲周延《東風俗福つきし 霧ふく》明治22年（1889）頃／大判錦絵／版元＝武川卯之吉／当館蔵
43. 無款《姉様衣せうつけ》明治21年（1888）／大判錦絵／版元＝松野米次（治）郎／当館蔵

館内放映：スライドショー「江戸のモード」6分

広報記録：news チバ「浮世絵などを通して江戸時代のファッションを知る」（千葉テレビ、2025年7月8日）、見る聞く話す参加する欄（『東京新聞』2025年7月6日）、Art 欄（『月刊ぐるっと千葉』2025年7月号）



117 高森碎巖—長南に生まれた最後の南画家—

2025年9月30日（火）～10月25日（土）

臨時開館：10月20日（月）

千葉県長生郡長南町に生まれた高森碎巖（1847～1917）は、明治・大正期に活躍した南画家である。幼少期に江戸へ出て儒学や書を修め、17歳で渡辺崋山の門人・山本栞谷に画を学んだ碎巖は、自ら詩を詠み、賛を記す作画姿勢を貫き、東京を拠点に全国を遊歴して作品を制作した。書画の鑑識にも造詣が深く、江戸時代の画家の作品について記した文章は、優れた画論となっている。晩年は崋山の系譜を継ぐ南画界の重鎮と仰がれたが、「酔巖」と間違えられても気にしない恬淡な性格で、楽しみながら画を描くことが無上の喜びと、名利を求めずに公募展に出品することもなかった。

この度の展覧会では、飄逸な山水画を中心に、愛石趣味を伝える作品など、伝統的な南画が衰退するなかでも教養人に愛好され続けた作品を展示し、漢学の素養のある最後の南画家といわれた碎巖の画業を紹介した。



出品目録

1. 《岳陽樓図》紙本墨画淡彩 1幅／134.6×46.5 cm／房総郷土美術館蔵
2. 《梅村幽居図・柳莊隱棲図》紙本墨画淡彩 双幅／137.8×17.5 cm／房総郷土美術館蔵
3. 《秋山帰牧図》絹本着色 1幅／131.3×41.5 cm／房総郷土美術館蔵
4. 《武陵桃源図》絹本着色 1幅／146.0×41.5 cm／房総郷土美術館蔵
5. 《青緑山水図》明治30年（1897）／絹本着色 1幅／161.8×51.5 cm／房総郷土美術館蔵
6. 《秋溪幽棲図》明治30年（1897）／絹本着色 1幅／143.0×56.5 cm／千葉市美術館蔵
7. 《梅花書屋図》明治40年（1907）／絹本着色 1幅／129.1×49.3 cm／豊島区立鈴木信太郎記念館蔵
8. 《雪中山水図》明治41年（1908）／絹本着色 1幅／128.7×49.1 cm／豊島区立鈴木信太郎記念館蔵
9. 《柳柳詩意図》明治41年（1908）／絹本墨画 1幅／124.3×41.8 cm／房総郷土美術館蔵
10. 《槐景山水図》絹本着色 1幅／128.8×49.1 cm／豊島区立鈴木信太郎記念館蔵
11. 《松下談古図》絹本着色 1幅／140.8×41.3 cm／房総郷土美術館蔵
12. 《松林山水図・雪景山水図》大正3年（1914）／絹本着色 双幅／131.4×41.8 cm／房総郷土美術館蔵
13. 《四季山水図 桃林牧牛・夏山読易・大湖観月・冬日幽居》大正2年（1913）／絹本着色 4幅対／各130.1×35.5 cm／千葉市美術館蔵
14. 《秋溪観月図》大正3年（1914）／絹本着色 1幅／145.7×41.7 cm／房総郷土美術館蔵
15. 《竹溪漁夫図》絹本着色 1幅／140.9×42.0 cm／房総郷土美術館蔵
16. 《羅浮春夢》明治40年（1907）／絹本着色 1幅／116.3×41.0 cm／房総郷土美術館蔵

17. 《慈母觀音図》大正2年（1913）／絹本着色 1幅／144.0×41.7 cm／房総郷土美術館蔵
 18. 《高士愛石図》明治17年（1884）／絹本着色 1幅／134.5×36.0 cm／房総郷土美術館蔵
 19. 《青緑双石図》絹本着色 1幅／113.0×35.3 cm／早稲田大学會津八一記念博物館蔵
 20. 《月下萩に鶉図》 絹本着色 1幅／102.3×25.0 cm／房総郷土美術館蔵
 21. 《白頭百子図》明治33年（1900）／絹本着色 1幅／83.9×28.0 cm／房総郷土美術館蔵
 22. 《金魚図》絹本着色 1幅／131.7×33.5 cm／房総郷土美術館蔵
 23. 《蓬萊春色図》大正5年（1916）／絹本着色 1幅／55.6×86.2 cm／豊島区立鈴木信太郎記念館蔵
 24. 《盆蘭猫児図》紙本着色 1幅／41.0×30.5 cm／房総郷土美術館蔵
 25. 《巖石図扇》紙本墨画 1面／16.6×46.8 cm／早稲田大学會津八一記念博物館蔵
 26. 《北海十二石図冊》明治38年（1905）／紙本墨画 1帖／各15.3×9.7 cm／早稲田大学會津八一記念博物館蔵
 27. 《画冊》明治19年（1886）／絹本墨画淡彩、着色 1冊／各13.5×10.0 cm／渋谷区立松濤美術館蔵
- 資料『七松園印譜』和本 2冊／各17.2×10.0 cm／豊島区立鈴木信太郎記念館蔵
- 資料 西田春耕『口嗜小史 全』明治21年（1888）／和本 1冊／個人蔵
- 資料『碎巖画譜』大正7年（1918）／1冊／当館蔵

館内放映：スライドショー「賛に詠まれたモチーフに注目！ 詩句とともに作品の細部を楽しもう」6分

広報記録：Friday ちば欄（『読売新聞』2025年10月10日）、展覧会欄（『北総よみうり統合版』2025年9月26日）



118 第3回 風のアール・ブリュット ココロ・ポリリズム JIU

2025年11月8日(土)～14日(金)

主催：城西国際大学 域学共創プロジェクト A
社会福祉法人 生活クラブ
株式会社 いろだま

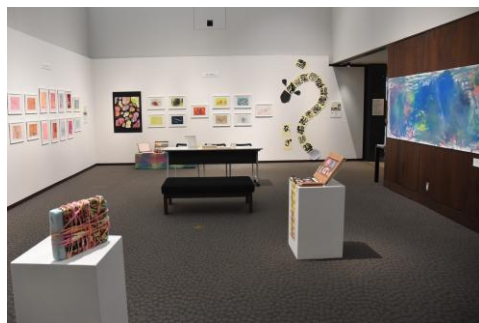
協力：城西国際大学水田美術館

「域学共創プロジェクト」は2022年度より城西国際大学の全学部共通科目として誕生した。学生たちが地域の人々と協働し、地域に埋もれているさまざまな価値の発掘や課題の解決に取り組むプロジェクトである。

アール・ブリュットとは美術教育を受けていない人々のアート。域学共創プロジェクト A では、「生活クラブ風の村 アール・ブリュット事業」に参加し、作品制作を通じて障がいのある方々と学生、地域をつなげる活動を行っている。このたびの展覧会では、その活動と障がい者による絵画・工芸作品を紹介した。



館内放映：映像「制作の過程」 制作＝〔福祉総合学部〕鈴木芹青、渡口夏花、〔看護学部〕林美樹、英桃子、〔メディア学部〕朴恩率、飯沼樟悟



119 浮世絵のヒットメーカー 葛屋重三郎と版元たち

2025年11月25日(火)～12月13日(土)

江戸時代、浮世絵版画は人々が気軽に購入できる出版物だった。その企画から宣伝、販売までを担ったのが版元である。浮世絵版画の売れ行きは大衆の好みや流行を先取りし、人気絵師を採用する彼らの手腕にかかっていた。なかでも、葛屋重三郎は、喜多川歌麿を人気美人画家へと開花させ、無名の東洲斎写楽によるこれまでにない豪華な雲母摺の役者大首絵を売り出すなど、卓越したプロデュース力を発揮した。

本展では、葛屋重三郎をはじめ、日本橋で屈指の版元だった鱗形屋孫兵衛や西村屋与八、浮世絵が衰退していった明治期に生き残りをはかった松木平吉など、複数の版元に焦点を当てながら、江戸から明治の浮世絵版画を紹介した。版元のさまざまな戦略のもと生み出された役者絵や美人画、相撲絵、風景画の数々をお楽しみいただいた。



出品目録

*すべて当館蔵

1. 二代鳥居清信《坂東彦三郎と沢村宗十郎》元文(1736～41)／細判漆絵／版元＝中嶋屋伊左衛門
2. 二代鳥居清信《瀬川菊次郎のお菊》元文4年(1739)／細判漆絵／版元＝鱗形屋孫兵衛
3. 西村重長《そて崎いせの》享保(1716～36)／細判漆絵／版元＝伊賀屋勘右衛門
4. 歌川国政《三代目市川八百蔵の梅王丸》寛政8年(1796)／大判錦絵／版元＝上村与兵衛
5. 昇亭北寿《東都深川洲崎従弁天望海上》文化～文政(1804～30)頃／大判錦絵／版元＝西村屋与八
6. 東洲斎写楽《二代目岩井喜代太郎の鷺坂左内女房藤浪と坂東善次の鷲塚官太夫女房小笹》寛政6年(1794)大判錦絵／版元＝葛屋重三郎
7. 東洲斎写楽《二代目嵐龍蔵の奴浮世又平》寛政6年(1794)／細判錦絵／版元＝葛屋重三郎
8. 東洲斎写楽《三代目瀬川菊之丞の傾城かつらぎ》寛政6年(1794)／細判錦絵／版元＝葛屋重三郎
9. 東洲斎写楽《八代目森田勘弥の由良兵庫之助信忠》寛政6年(1794)／細判錦絵／版元＝葛屋重三郎
10. 溪斎英泉《春夏秋冬 夏 尾張屋内長登 新造長花》文政(1818～30)後期／大判錦絵／版元＝葛屋吉蔵
11. 歌川国貞(三代豊国)《子宝遊》天保(1830～44)／大判錦絵／版元＝森屋治(次)兵衛
12. 三代歌川豊国・歌川広景《東都富士三十六景 柳橋》万延元年(1860)／大判錦絵／版元＝辻岡屋文助
13. 三代歌川豊国《東ノ方土俵入之図》弘化2年(1845)／大判錦絵3枚続／版元＝和泉屋市兵衛
14. 二代歌川豊国《稲川政之助》天保8～14年(1837～43)／大判錦絵／版元＝上州屋金蔵
15. 歌川国芳《極月 雪》天保(1830～44)中期／大判錦絵／版元＝伊勢屋利兵衛

16. 一筆斎文調・勝川春章《繪本舞台扇》明和7年(1770)／彩色摺絵本3巻3冊／版元＝雁金屋伊兵衛
17. 高橋其計《繪本続舞台扇》安永7年(1778)／彩色摺絵本2巻2冊の上巻より／版元＝菊屋安兵衛
18. 山東京伝作・歌川豊国画《東上総夷潜郡 白藤源太談》文化5年(1808)／墨摺半紙本3冊／版元＝鶴屋喜右衛門
19. 石川雅望編・抱亭五清画《狂歌画像作者部類》(初版・文化8年(1811))／墨摺大本1冊／版元未詳(初版：角丸屋甚助)
20. 榎田舎好文作・歌川国芳画《与話情浮名横櫛》嘉永6年～安政2年(1853～55)／墨摺中本11冊、1帖／版元＝山本屋平吉
21. 式亭小三馬作・歌川国貞(三代豊国)画《吾妻花所縁袴襦》天保4年(1833)／墨摺中本3冊／版元＝山本屋平吉
22. 四代歌川国政《佐倉惣吾真の実録 東叡山農夫の願書》明治17年(1884)／墨摺中本2冊／版元＝山本平吉
23. 三代歌川豊国《犬塚信乃、犬飼現八、粉奈や文五兵衛、犬田小文吾、山林房八》嘉永5年(1852)／大判錦絵3枚続／版元＝山本屋平吉
24. 歌川国芳《賢女烈婦伝 婢竹女》天保14年～弘化4年(1843～47)／大判錦絵／版元＝伊場屋仙三郎
25. 三代歌川豊国《古今名婦伝 松浦佐用姫》文久2年(1862)／大判錦絵／版元＝魚屋栄吉
26. 歌川国貞《小柳・鬼面山》安政2年(1855)／大判錦絵3枚続／版元＝山口屋藤兵衛
27. 歌川国芳《東山桜荘子 織越館の場》嘉永4年(1851)／大判錦絵2枚続／版元＝上州屋金蔵
28. 三代歌川豊国《東山桜荘子 織越館の場》嘉永4年(1851)／大判錦絵3枚続／版元＝海老屋林之助
29. 三代歌川豊国《清書七伊呂者 おく庭 おはつ いはふち》安政3年(1856)／大判錦絵／版元＝藤岡屋慶次郎
30. 三代歌川豊国《清書七意呂盤 えんま堂 左枝大学 修行者合邦》安政3年(1856)／大判錦絵／版元＝恵比寿屋庄七
31. 歌川広重《不二三十六景 上総天神山海岸》嘉永5年(1852)／中判錦絵／版元＝佐野屋喜兵衛
32. 歌川広重《六十余州名所図会 下総 銚子の浜外浦》嘉永6年(1853)／大判錦絵／版元＝越村屋平助
33. 歌川広重《山海見立相撲 上総木更津》安政5年(1858)／大判錦絵／版元＝山田屋庄次郎
34. 三代歌川広重《大日本物産図絵 下総国 醤油製造之図 同西瓜畑之図》明治10年(1877)頃／大判錦絵／版元＝大倉孫兵衛
35. 二代歌川国輝《勸進大相撲土俵入図》明治6年(1873)／大判錦絵3枚続／版元＝松木平吉
36. 小林清親《日本名勝図絵 成田山新勝寺》明治30年(1897)／大判錦絵／版元＝松木平吉
37. 月岡耕漁《能楽図絵 殺生石》明治31年(1898)／大判 木版多色／版元＝松木平吉

館内放映：スライドショー「江戸の絵草子屋」6分

広報記録：news チバ「江戸のメディア王・葛屋重三郎らの活躍 浮世絵で振り返る企画展」(千葉テレビ、2025年11月27日)、「版元の戦略光る浮世絵たち」(『千葉日報』2025年12月6日)、見る聞く話す参加する欄(『東京新聞』2025年11月30日)、コミュニティひろば欄(『シティライフ』2025年11月8日)、らいふ通信欄(『シティライフ』2025年12月6日)



Ⅱ-3 これまでの展覧会一覧

年度	回数	展覧会名
2001年度 [平成13]	1	城西国際大学水田美術館開館記念 浮世絵名作展 4月7日～14日
	2	JIU開学10周年記念 漢代画像石拓本展—刻された神仙の物語— 7月9日～28日
	3	JIU開学10周年記念 浮世絵版画のできるまで 9月19日～10月20日
	4	JIU開学10周年記念 江戸絵画名品展—音の祝宴— 10月30日～11月16日
2002年度 [平成14]	5	水田コレクション名品展—近代日本画の諸相— 4月15日～5月11日
	6	柳澤紀子展—水邊の庭— 6月11日～7月19日
	7	江戸の貞女・賢女・女傑—仁科又亮氏寄贈《古今名婦伝》を中心に— 9月25日～10月19日
	8	水田コレクション 浮世絵は楽し① 版型のヴァリエーション 11月2日～22日
2003年度 [平成15]	9	水田コレクション 浮世絵は楽し② 役者絵 4月15日～5月10日
	10	吉増剛造展 一滴の光 1984—2003 6月3日～7月19日
	11	房総の素封家と近代日本画壇—大観・紫紅とその周辺— 9月24日～10月25日
	12	水田コレクション 浮世絵は楽し③ 美人画 11月2日～22日
	*	13～15年度新収蔵品展示 12月20日～〈2004年〉1月28日の随時
2004年度 [平成16]	13	水田コレクション 浮世絵は楽し④ 版元と出版 4月13日～5月1日
	14	鴨川市所蔵藤澤衛彦コレクション 摺物 江戸の風雅な年賀状 前期 5月25日～6月12日 後期 6月22日～7月10日
	*	収蔵品特集展示《古今名婦伝》—江戸時代の女性像— 7月16日、24～26日
	15	房総ゆかりの画家 齊藤惇展—心に響く情景— 9月21日～10月23日
	16	水田コレクション 浮世絵は楽し⑤ 技巧と表現 11月5日～27日
	*	収蔵品特集展示 版画のいろいろ—拓本・浮世絵・銅版画— 12月11日～〈2005年〉1月29日の随時
2005年度 [平成17]	17	第1回メディア文化学科卒業制作優秀展 4月1日～7日
	18	水田コレクション名品展—四季の風物詩— 4月12日～5月7日
	19	東金ゆかりの美術 前期 5月26日～6月18日 後期 6月23日～7月16日
	20	近代の能画家 月岡耕漁展 9月22日～10月22日
	21	水田コレクション展 浮世絵は楽し⑥ 結髪 11月5日～26日
	*	第2回メディア文化学科卒業制作選抜展 〈2006年〉1月29日、30日
	*	第2回メディア文化学科卒業制作展 〈2006年〉2月9日～13日

年度	回数	展覧会名
2006年度 [平成18]	22	第2回メディア文化学科卒業制作優秀展 3月13日～18日、4月1日、11日～18日
	23	江戸土産としての浮世絵 広重《名所江戸百景》を中心に 5月9日～6月3日
	24	橋本博英展—色彩の交響曲— 6月27日～7月22日
	25	房総ゆかりの画家 石井林響展 後援団体「総風会」を中心に 10月3日～28日
	26	「房総風景」展—館蔵浮世絵コレクションより— 11月21日～12月16日
	27	第3回メディア学部卒業制作展 〈2007年〉3月14日～17日
	2007年度 [平成19]	28
29		生誕120年 田岡春径展—房総に生きた南画家 前期 5月15日～6月9日 後期 6月19日～7月14日
30		映像でふり返るアジア海洋映画祭イン幕張 9月20日～26日
31		水田コレクション浮世絵名品展 特集＝判型 10月2日～20日
32		房総の素封家と若き日本画家たち 山口蓬春を中心に 11月2日～12月1日
*		収蔵品特集展示 房総ゆかりの美術 12月8日～〈2008年〉2月18日の随時
—		ハンガリー作家二人展 レザーコラージュとフェルト作品 10月4日、5日 城西国際大学本部棟3階ギャラリーにて
2008年度 [平成20]	33	第4回メディア学部卒業制作優秀展 4月2日、8日～19日
	34	プルチョウ・コレクション あるジャパノロジストの視点—源氏絵、歌仙絵を中心に 5月13日～6月11日
	35	野田市郷土博物館所蔵 明治の匠・勝文斎の押絵行灯 6月24日～7月19日
	36	水田コレクション浮世絵名品展 特集＝役者絵 9月30日～10月18日
	37	酒井亜人展 日本画壇のモダニスト 11月1日～29日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 旅と記憶 12月6日～〈2009年〉3月17日の随時
	2009年度 [平成21]	38
39		忠臣蔵 近代木版画でたどる物語 6月9日～7月4日
40		生誕100年記念展 銅版画の巨匠 浜口陽三 9月1日～10月3日
41		水田コレクション 浮世絵名品展 特集＝美人画 10月31日～11月21日
*		特別開館 収蔵品特集展示 伝説のヒーローたち 12月～〈2010年〉3月の随時
2010年度 [平成22]	42	第6回メディア学部卒業制作優秀展 4月2日、6日～17日
	43	旅の版画家 川瀬巴水—大正・昭和の懐かしい風景— 前期 5月25日～6月12日、後期 6月15日～7月3日
	44	森洋子展 子どもたちのみる夢 水田宗子詩集『サンタバーバラの夏休み』出版記念 7月6日～24日
	45	水田コレクション展 浮世絵の版元と出版 9月28日～10月16日
	46	石版画の開拓者 石井鼎湖 知られざる明治美術 10月30日～11月27日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 物語と絵画 12月～〈2011年〉3月の随時

年度	回数	展覧会名
2011年度 [平成23]	47	浮世絵で遊ぶ 江戸の笑いと思像力 5月10日～6月4日
	48	近世版画の色と技 浮世絵から若冲の拓版画まで 6月21日～7月16日
	49	水田コレクション浮世絵名品展 四季の風物詩 10月4日～22日、11月5日～7日
	50	描かれた万葉の世界 近代日本画にみる古代への憧れ 11月15日～12月10日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 子どもたちの時間 12月～〈2012年〉3月の随時
2012年度 [平成24]	51	第8回メディア学部卒業制作優秀展 3月15日～17日、4月3日～13日
	52	水田コレクション浮世絵展 結び髪 5月15日～6月2日
	53	佐藤辰作展 外房の風Ⅲ 6月19日～7月21日
	54	写真展 コーシャ・フェレンツの世界 多元時空 9月25日～10月13日
	55	江戸のスター参上! 役者絵のいろいろな楽しみ方 11月3日～12月1日
	*	特別展示 城西国際大学創立20周年記念特別展示 水田コレクション浮世絵名品展 江戸の視覚革命 4月28日、5月2日
	*	特別展示 高田宮殿下の思い出 2002年日韓ワールドカップゆかりの品々 5月22日、12月11日
*	特別開館 収蔵品特集展示 役者絵のいろいろ 8～9月、〈2013年〉1～3月の随時	
2013年度 [平成25]	56	水田コレクション展 浮世絵の判型 5月7日～25日
	57	第9回メディア学部卒業制作優秀展 5月30日～6月7日
	58	病に負けるな! 浮世絵にみる流行り病とくすり 6月18日～7月13日
	59	九十九里浜の網主文化 齋藤滄洲と文人の交遊 10月1日～26日
	60	明治の子どもたち 版画にみる遊びと教育 11月3日～12月7日
	*	特別開館 水田清子名誉理事長を偲んで 水田コレクション近代日本画の名品とゆかりの品々 3月15日、4月2日
	*	特別開館 水田家寄贈新収蔵品展 9月11日、14日
*	特別開館 収蔵品特集展示 房総の旅 7～9月、12月 〈2014年〉1～2月の随時	
2014年度 [平成26]	61	第10回メディア学部卒業制作優秀展 3月13日～15日
	62	水田コレクション新収蔵品展 4月2日、8日～26日
	63	浮世絵でたどる房総の旅 6月10日～7月5日
	64	水田コレクション浮世絵展 江戸のきもの 9月24日～10月11日
	65	糖業協会コレクション 日本近代洋画の輝き 前期 10月28日～11月15日 後期 11月18日～12月6日
	*	特別開館 収蔵品特集展示 近代木版画 伝統と革新 7月～9月、12月～〈2015年〉3月の随時

年度	回数	展覧会名
2015年度 [平成27]	66	第11回メディア学部卒業制作優秀展 3月14日、4月13日～17日
	67	水田コレクション浮世絵展 役者絵 4月2日、5月7日～23日
	68	創作版画でめぐるモダン都市東京 前期 6月2日～6月27日 後期 6月30日～7月25日
	69	水田コレクション 浮世絵美人競 10月1日～17日、11月1日～3日
	70	こどもたちのモダンライフ 1920-30年代児童雑誌の原画展 11月10日～12月5日
	71	高円宮コレクション現代根付展 〈2016年〉1月27日、2月1日～13日
	*	特別開館 JIUコレクション新収蔵品展 8月～9月、〈2016年〉2月～3月の随時
2016年度 [平成28]	72	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2016 4月12日～23日
	73	JIUコレクション展 I 浮世絵と近代木版画 5月17日～6月11日 II 5人の現代作家 6月21日～7月16日
	74	銚子・円福寺コレクション 近代日本画展 9月20日～10月15日
	75	北斎の弟子 昇亭北寿 洋風風景画の展開 11月5日～12月3日
	*	特別開館 水田コレクション展 浮世絵の版元と出版 4月2日、4日、7日
	*	特別開館 浮世絵でつづる房総人物伝 12月～〈2017年〉3月の随時
	2017年度 [平成29]	76
77		橋本博英展 光と風を感じて 6月27日～7月22日
78		浮世絵の版元と出版 9月26日～10月14日
79		東金が生んだ文人 安川柳溪 11月4日～12月2日
*		特別開館 描かれた能 12月～〈2018年〉3月の随時
2018年度 [平成30]	80	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2018 3月15日、4月2日、9日～20日
	81	浮世絵でつづる房総人物伝 アウトローたち Part I 切られ与三郎 5月15日～6月9日 Part II 東金茂右衛門・天保水滸伝 6月13日～6月30日
	82	《昭和職業絵展》にみる戦前のくらし 7月10日～8月4日
	83	JIUメディアデザインラボ展 8月22日～25日、8月29日～31日、9月8日、9月18日～28日
	84	ホルバートコレクション 近代木版画 10月9日～11月10日
	85	水田コレクション 近代日本画の諸相 11月27日～12月15日

年度	回数	展覧会名
2019年度 [平成31]	86	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2019 3月15日、23日、4月2日、8日～12日
	87	森洋子の空想化石はくぶつかん 絵本原画と大石化石コレクション 5月14日～6月22日
	88	水田コレクション 浮世絵版画の技巧 7月9日～27日
	89	浮世絵でよむ南総里見八犬伝 9月17日～10月12日
	90	東金アーカイブスプロジェクト 携帯カメラで記録された東金の街並、自然、文化 10月29日～11月9日
	91	九十九里浜の網主画家 斎藤卷石 11月19日～12月14日
	*	特別開館 房総の伊達男たち 〈2020年〉1月～3月の随時
2020年度 [令和2]	*	特別開館 房総の伊達男たち 8月～〈2021年〉4月の随時
2021年度 [令和3]	92	メディア学部 後岡喜信教授退官記念展 JAPAN CHINA INDIA as BEAUTY 4月19～30日
	93	佐藤辰作 1970-2020 5月18日～6月12日
	94	プルチョウコレクション展 風俗画と源氏絵を中心に 6月22日～7月17日
	95	相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み 11月16日～12月11日
	*	水田コレクション展 四季の風物詩 8月～11月の随時
2022年度 [令和4]	96	2021年度 城西国際大学メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2022 3月12日、26日、4月2日、6～12日
	97	斉藤好和 イラストレーション展 41年間の足あと (1980-) 5月17日～6月17日
	98	MADE IN OCCUPIED JAPAN ① アメリカに渡った陶製人形 7月5～30日
	99	近代日本画コレクション 茂原の素封家と画家との交流 9月27日～10月22日
	100	水田コレクション展 四季の風物詩 11月5～26日
	101	写真展 スウェーデンのパパたち 12月13～17日
	*	特別開館 浮世絵ってなに? 2023年2月～3月の随時
2023年度 [令和5]	102	2022年度 城西国際大学メディア学部ニューメディアコース卒業制作優秀展2023 3月15日、25日、4月1日、10～14日
	103	浮世絵にみるよそおい ① 江戸のメイクアップ 5月16日～6月3日
	104	MADE IN OCCUPIED JAPAN ② 海を渡った洋食器 6月27日～7月29日
	105	indigo Blue Ocean by Leki×Occy 一藍と海が繋ぐ世界一 10月7～28日
	106	風のアール・ブリュット×ココロ・ポリリズムJIU 障がい者の生きた芸術展 11月7～12日
	107	脳トレ・謎解き! 浮世絵展 11月21日～12月16日

2024年度 [令和6]	108	2023年度 城西国際大学メディア学部ニューメディアコース卒業制作優秀展2024 3月15、23日、4月2、8～12日
	109	大江戸探訪 浮世絵でタイムスリップ 5月14日～6月1日
	110	MADE IN OCCUPIED JAPAN ③ かわいい小物の里帰り 6月25日～7月27日
	111	しかけ絵本ワンダーランドー飛び出す・変わる・ときめく 9月24～10月26日
	112	第2回 風のアール・ブリュット ココロ・ポリリズムJ1U 11月5～10日
	113	川久保悦子の庭 花と猫と 11月26日～12月21日

Ⅲ 教育普及

Ⅲ-1 講演会・スライドトーク等

「MADE IN OCCUPIED JAPAN④ レトロな日用雑貨」スライドトーク

日時：5月31日（土） 午後2時～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：31名

「浮世絵にみるよそおい② 江戸のモード」スライドトーク

日時：7月19日（土） 午後2時～（約45分） 担当：当館学芸員 参加者数：36名

「高森碎巖—長南に生まれた最後の南画家—」講演会

「高森碎巖の生涯と画業—近世・近代をつないだ千葉の南画家」

日時：10月4日（土） 午後2時～3時30分

講師：村田隆志氏（大阪国際大学教授）

聴講者数：37名

「高森碎巖—長南に生まれた最後の南画家—」ギャラリートーク

日時：10月11日（土） 午後2時～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：16名

「浮世絵のヒットメーカー 蔦屋重三郎と版元たち」スライドトーク

日時：12月6日（土） 午後2時～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：57名

Ⅲ-2 団体来館者への協力

申し込みのあった団体来館者、授業での使用に対し、展示品解説、施設説明などを随時行った。

授業 3件

その他 1件

Ⅲ-3 その他

「ちょこっとワークシート 版元印を探せ！」

「浮世絵のヒットメーカー 蔦屋重三郎と版元たち」において配布



IV 収集

2025年度 新収蔵資料

購入＝版画11件、版本1件 寄贈＝日本画13件、陶磁器6件

作者名	作品名	技法・サイズ等	制作年	購入／寄贈
三代歌川豊国	かこひ者お富・番頭多左衛門・こうもり安・きられ与三	大判錦絵3枚続 右36.3×24.7、中36.1×25.1、左36.1×25.0cm 版元＝丸屋甚八	万延元年(1860)	購入
歌川国芳	極月 雪	大判錦絵 35.5×25.7cm 版元＝伊勢屋利兵衛	天保(1830～44)中期	購入
歌川国貞	子宝遊(猫)	大判錦絵 36.1×25.6cm 版元＝森屋治(次)兵衛	天保(1830～44)	購入
歌川国貞	子宝遊(授乳)	大判錦絵 36.3×25.1cm 版元＝森屋治(次)兵衛	天保(1830～44)	購入
歌川国貞	子宝遊(けんか)	大判錦絵 36.8×25.5cm 版元＝森屋治(次)兵衛	天保(1830～44)	購入
山東京伝作・歌川豊国画	東上総夷潜郡 白藤源太談	半紙本 3冊 20.3×14.5cm 版元＝鶴屋喜右衛門	文化5年(1808)	購入
歌川国芳	茶道印馬実は当吾の霊、桂木、浅倉当吾の霊、織越大領、こし元小桜実は当吾霊	大判錦絵二枚続 右37.6×25.8、左37.6×25.6cm 版元＝上州屋金藏	嘉永4年(1851)	購入
柳斎重春	里見八犬土之一人 犬田小文吾悌頼	大判錦絵 38.8×25.8cm 版元未詳	天保5年(1834)頃	購入
豊原国周	成田不動尊御着御道筋諸人群衆図	大判錦絵3枚続 右36.0×23.3、中36.1×23.9、左36.0×23.9cm 版元＝福田熊次郎	明治6年(1873)	購入
四代歌川国政	新富座本普請落成 秋狂言看客群集図	大判錦絵3枚続 右36.1×25.3、中36.9×24.8、左36.9×25.2cm 版元＝福田熊次郎	明治11年(1878)	購入
酒井亜人	風景	紙本着色 額1面 85.7×85.7cm		寄贈
酒井亜人	方南町	紙本着色 額1面 106.5×135.8cm	昭和24年(1949)	寄贈
酒井亜人	編隊行く	紙本着色 額1面 118.0×175.4cm	昭和17年(1942)	寄贈
酒井亜人	人物(房子夫人)	紙本着色 額1面 73.3×64.0cm	昭和28年(1953)	寄贈
酒井亜人	炭焼き	絹本着色 1幅 129.0×40.5cm		寄贈
酒井亜人	霜晨残月之図	紙本墨画 1幅 140.0×33.5cm	昭和6年(1931)	寄贈
酒井亜人	風景	紙本着色 色紙1面 24.3×27.0cm		寄贈
酒井亜人	富士	紙本着色 扇面1本 11.9×38.3cm		寄贈

作者名	作品名	技法・サイズ等	制作年	購入／寄贈
酒井亜人	梅試筆	紙本墨画淡彩 一幅 123.6×20.2cm	昭和7年(1932)	寄贈
酒井亜人	少女像	絹本着色 1面 34.5×25.7cm		寄贈
酒井亜人	森	紙本着色 額1面 152.5×136.5cm	昭和18年(1943)	寄贈
酒井雲洲	夏秋草	紙本着色 1巻 22.5×161.8cm		寄贈
萱原黄丘	松下読書	絹本着色 1幅 145.0×40.5cm	大正15年(1926)	寄贈
三代歌川豊国	八房の霊・ふせひめ	大判錦絵2枚続 右36.5×24.7、左36.3×24.7cm 版元＝林屋庄五郎	嘉永5年(1852)	購入
歌川芳幾	市川小団次の浅倉当吾・嵐雛助の東山義政	大判錦絵2枚続 右36.9×25.4、左36.9×25.5cm 版元＝太田屋多吉	文久元年(1861)	購入
	水色スカートの女性	陶磁器 10×9.4×27.5cm 裏印＝ORION MADE IN OCCUPIED JAPAN	昭和22～27年(1947～52)	寄贈
	帽子の女性	陶磁器 9.8×9.6×16.2cm 裏印＝MADE IN JAPAN OCCUPIED	昭和22～27年(1947～52)	寄贈
	見上げる女性	陶磁器 9.6×7.9×15.5cm 裏印＝MADE IN OCCUPIED JAPAN	昭和22～27年(1947～52)	寄贈
	バレリーナの器	陶磁器 7.8×7.8×9.0cm 裏印＝MADE IN OCCUPIED JAPAN	昭和22～27年(1947～52)	寄贈
	バレリーナ(緑レース)	陶磁器 7.0×4.9×12.0cm 裏印＝TK JAPAN		寄贈
	バレリーナ(白レース)	陶磁器 6.0×4.8×9.1cm 裏印＝TK JAPAN		寄贈

V 調査研究

2025年

4月14日 着物、装身具11件 国立歴史民俗博物館

6月3日 高森碎巖作品1件 渋谷区立松濤美術館

10月31日 高森碎巖作品2件、粉本類 新潟県胎内市個人宅

2026年

2月18日 安川柳溪他作品30件 東金・八百平商店

VI 城西国際大学水田美術館概要

VI-1 組織図

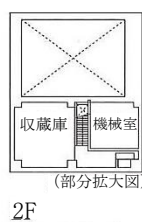
館長——学芸員

館長 袁福之
学芸員 堀内瑞子
山口真理子



VI-2 施設

延床面積 277.2 m²
構造 鉄筋コンクリート造 地上2階
展示室面積 169.2 m²
収蔵庫面積 72.0 m²



VI-3 利用案内

開館日 展覧会開催期間の火曜日～土曜日。大学行事にあわせ随時開館。

開館時間 午前10時～午後4時

入館料 展覧会によって異なる。高校生以下無料。障がい者手帳を所持する方と付添者1名まで無料。本学学生・教職員無料。

交通 JR 外房線大網駅または JR 総武本線成東駅乗り換えで JR 東金線求名（ぐみょう）駅下車、徒歩5分。
車では、京葉道路・館山自動車道の千葉東ジャンクションより千葉東金道路に入り、東金インター下車、国道126号線を成東方面へ約20分、信号「城西国際大前」右折。
JR 東京駅、JR 横浜駅、JR 木更津駅、JR 千葉駅、JR 蘇我駅、JR 東金駅、JR 成東駅、京成成田駅よりシャトルバス運行。

城西国際大学水田美術館年報

第22号 2025（令和7）年度

2026年（令和8年）3月31日発行

編集 城西国際大学水田美術館
〒283-8555 千葉県東金市求名1番地
電話 0475-53-2562
<https://www.jiu.ac.jp/museum/>